

仕 様 書

- 1 委 託 業 務 名 令和8年度多賀城市埋蔵文化財調査センター環境調査業務委託
- 2 委託業務内容 埋蔵文化財調査センター収蔵庫（特別収蔵庫含む）、展示室、整理室の環境調査
- 3 委 託 期 間 契約日の翌日から令和9年3月19日まで
- 4 委 託 場 所 多賀城市埋蔵文化財調査センター
(多賀城市中央二丁目27番1号)
- 5 支 払 条 件 業務完了後一括払
- 6 調 査 回 数 年3回
- 7 調 査 仕 様
 - (1) 昆虫生息調査
 - ア 調査目的
収蔵・展示している資料(文化財)に何らかの被害を加える昆虫の生息状況をモニタリングし、早期発見とその後の対策を提案することで、資料の管理方法の改善に役立てるために実施する。
 - イ 調査内容
 - (ア) モニタリングトラップ(以下「トラップ」という)を2週間程度設置し、捕獲状況を確認すること。
 - (イ) 捕獲した昆虫の同定および個体数のカウントを行うこと。
 - ウ 調査個所(調査1回あたり) 別紙参照
 - (ア) 歩行性トラップ120箇所
 - (イ) フェロモントラップ22箇所
(タバコシバンムシ用、ヒメマルカツオブシムシ用、ジンサンシバンムシ用)
 - エ 使用資材(調査1回あたり)
 - (ア) ステッキートラップ91個(歩行性トラップ)
 - (イ) バグトラップ29個(歩行性トラップ)
 - (ウ) タバコシバンムシ用フェロモントラップ22個
 - (エ) ヒメマルカツオブシムシ用フェロモントラップ22個
 - (オ) ジンサンシバンムシ用フェロモントラップ22個
 - オ 表示単位 匹

(2) 浮遊菌調査

ア 調査目的

空間に浮遊する真菌(カビ)類をサンプリングし、資料(文化財)に悪影響を及ぼす微生物から被害を未然に防ぐ方法を提案するために実施する。

イ 調査内容

(ア) 空中浮遊菌サンプラー本体に、真菌(カビ)類専用のポテトデキストロース寒天培地を取り付け、サンプリング量 100 L の設定条件で吸引し、浮遊菌を採取する。

(イ) 採取した後、培地を 72～96 時間、27～32℃で培養し、コロニー数を算出する。

(ウ) 館内と比較するため、建物の屋外 1 点を採取する。

ウ 調査箇所(調査 1 回あたり) 28 箇所 別紙参照

エ 表示単位 コロニー(100 L あたり)

(3) 有機酸・アンモニア調査

ア 調査目的

建材に使用されるコンクリートや木材および接着剤などから放出される汚染物質を調査し、文化財に与える影響を把握するために実施する。

イ 調査内容

(ア) 2 種類のパッシブインジケータを調査対象箇所に設置する。

設置日から 4 日目に有機酸インジケータおよびアンモニアインジケータの変色範囲を確認し、空間内における対象ガスの存在濃度を評価する。

有機酸インジケータにて、4 日目に「完全変色」判定にならなかった箇所においては、7 日目にも変色範囲の確認を行うものとする。

(イ) インジケータの変色は、デジタルカメラ等を用い、デジタルデータも記録する。

ウ 調査箇所(調査 1 回あたり) 22 箇所 別紙参照

(4) 塵埃調査(温湿度・炭酸ガス・紫外線を含む)

ア 調査目的

カビや錆の原因となる粉塵類を事前に把握するため、我が国特有の、夏期の高温多湿、冬期の低温乾燥という環境下で、資料(文化財)保存に適した一定の空気調和を維持するため、空気流通の悪い箇所を特定するための温湿度調査、空気汚染による劣化を防ぐための炭酸ガスの数値も

把握するために実施する。

イ 調査内容

光散乱式デジタル粉塵計及び I A Q モニター、紫外線測定器を使用して調査する。

ウ 調査箇所(調査 1 回あたり) 2 2 箇所 別紙参照

エ 表示単位

mg / m^3 (塵埃)

$^{\circ}\text{C}$ (温度)

% (湿度)

PPm (CO 及び CO₂)

$\mu\text{W} / \text{cm}^2$ (放射照度)

オ 測定範囲

0.001~10.000 mg / m^3 (塵埃)

8 資格要件

調査員は下記資格の全てを有する者を 1 名以上配置すること。また、当施設は文化財保存対策の専門業者による調査を希望するため、調査員は過去に、博物館・美術館における昆虫生息調査、浮遊菌調査、塵埃調査の実務経験を有する者のみとする。

(1) 学芸員

(2) 文化財 IPM コーディネータ

(3) 文化財虫菌害防除作業主任者

(4) ペストコントロール 1 級技術者

9 業務計画書

次の事項を記載した業務計画書を作成し、あらかじめ提出し打合せを行うこと。

(1) 調査実施時期(予定)

(2) 仕様書に即した業務内容書

(3) 調査配置見取図

(4) 調査員名簿(a 氏名、b 経験年数、c 有する資格の名称、d 実務経験を有する主な博物館・美術館の名称及び調査項目)

(5) 資格の証明書等の写し

(6) 文化財保存対策業務に関する損害保険証の写し

10 業務報告書

各調査終了後の 1 ヶ月以内に調査の内容解析・報告書の作成及び問題点の改善措置の提案等の報告書を提出することとし、報告書には、次の事項を記載するものとする。

- (1) 調査実施期間
- (2) 仕様書に即した業務内容書
- (3) 調査配置見取図
- (4) 各調査項目の調査結果一覧表
- (5) 写真などの諸記録
- (6) 考察及び改善策(昆虫生息調査については、発見された文化財害虫の特徴も記載)
- (7) 調査員の氏名

11 成果品の納入場所

多賀城市埋蔵文化財調査センター

12 その他

(1) 暴力団排除措置事項

ア 受注者は、市が発注する本業務において、当該契約の履行に当たり暴力団員等による不当要求又は妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察への通報等を行うこと。

イ 受注者は、上記アにより警察へ通報等を行った場合には、速やかに埋蔵文化財調査センター所長等にその内容を書面により報告すること。

ウ 受注者は、暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、埋蔵文化財調査センター所長等と協議を行うこと。

- (2) 多賀城市は環境マネジメントシステムを運用し地球環境保全に取り組んでいることから、委託の範囲内において環境に配慮した事項を可能な限り実行すること。
- (3) 環境調査の作業が原因で、備品や収蔵資料等の破損、変形等の問題が発生した場合は、直ちに担当職員に報告をするとともに受注者で現状に復すること。
- (4) この仕様書は、業務の概要を示すものであるが、委託者が業務の遂行上特に必要と認めた軽微な作業については、本書の定められていない事項についても、契約金額の範囲内において実施するものとする。

昆虫生息調査 歩行性トラップ 配置図

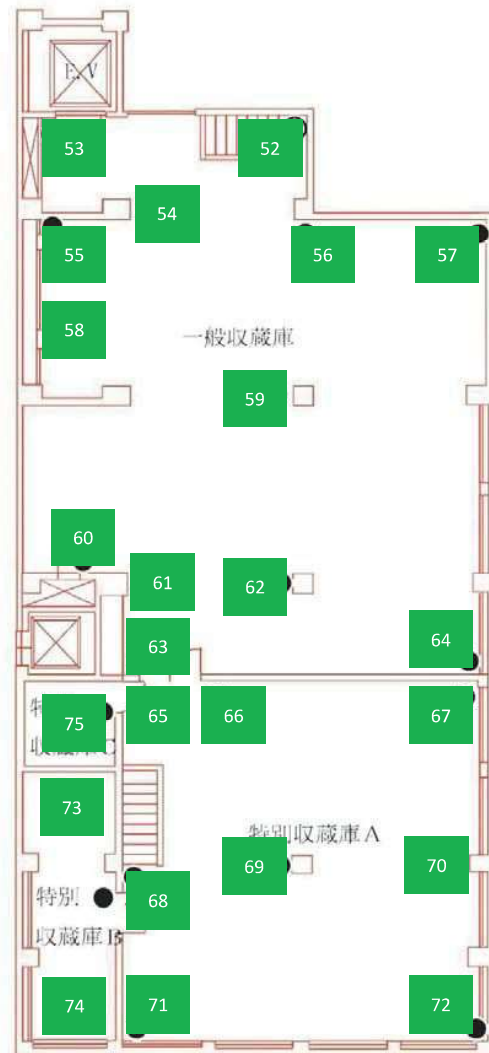


埋蔵文化財調査センター 1階平面図

昆虫生息調査 歩行性トラップ 配置図

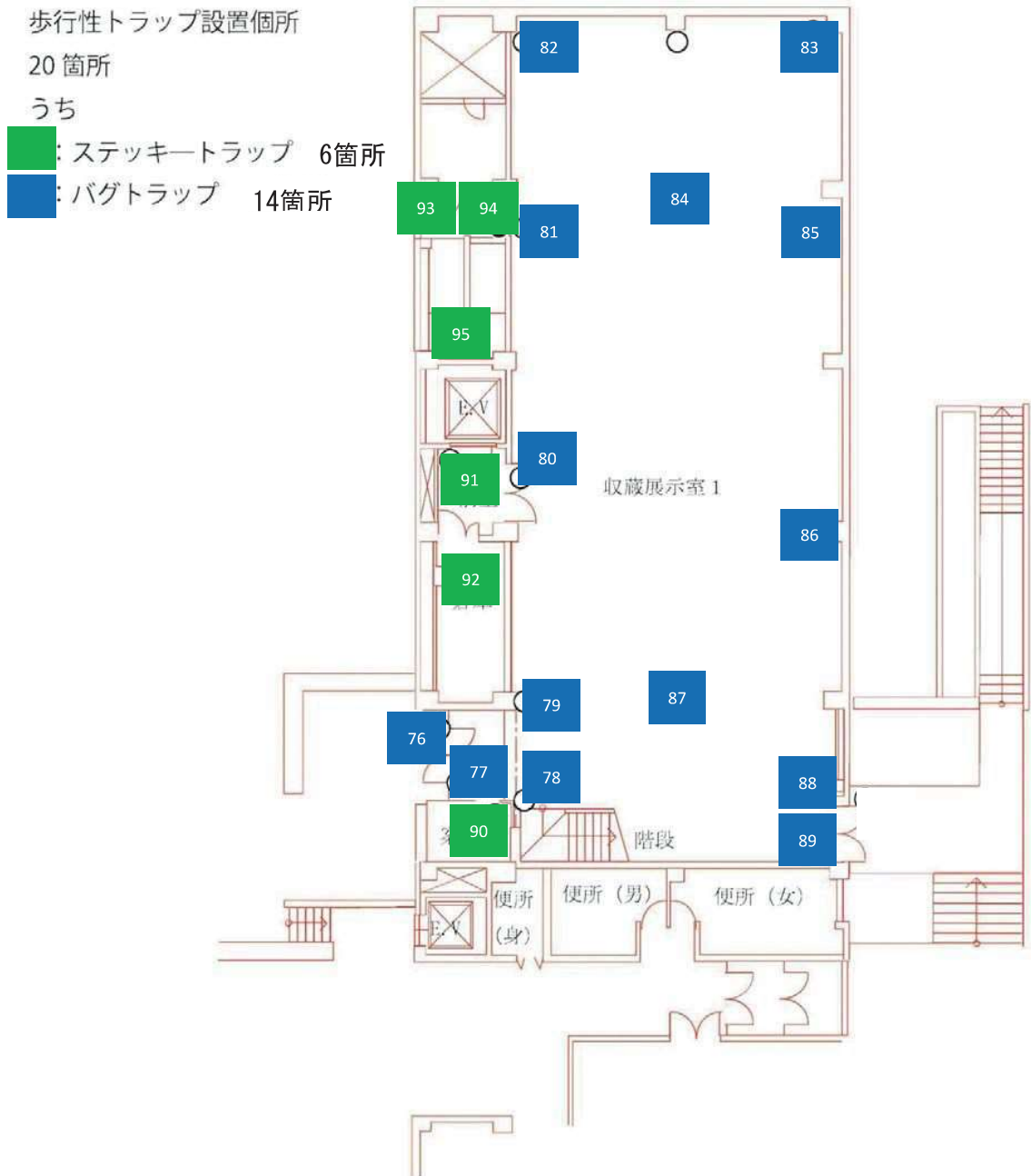
歩行性トラップ設置箇所

■ : ステッキートラップ 24箇所



埋蔵文化財調査センター 中2階平面図

昆虫生息調査 歩行性トラップ 配置図



埋蔵文化財調査センター 2階平面図

昆虫生息調査 歩行性トラップ 配置図

歩行性トラップ設置箇

25箇所

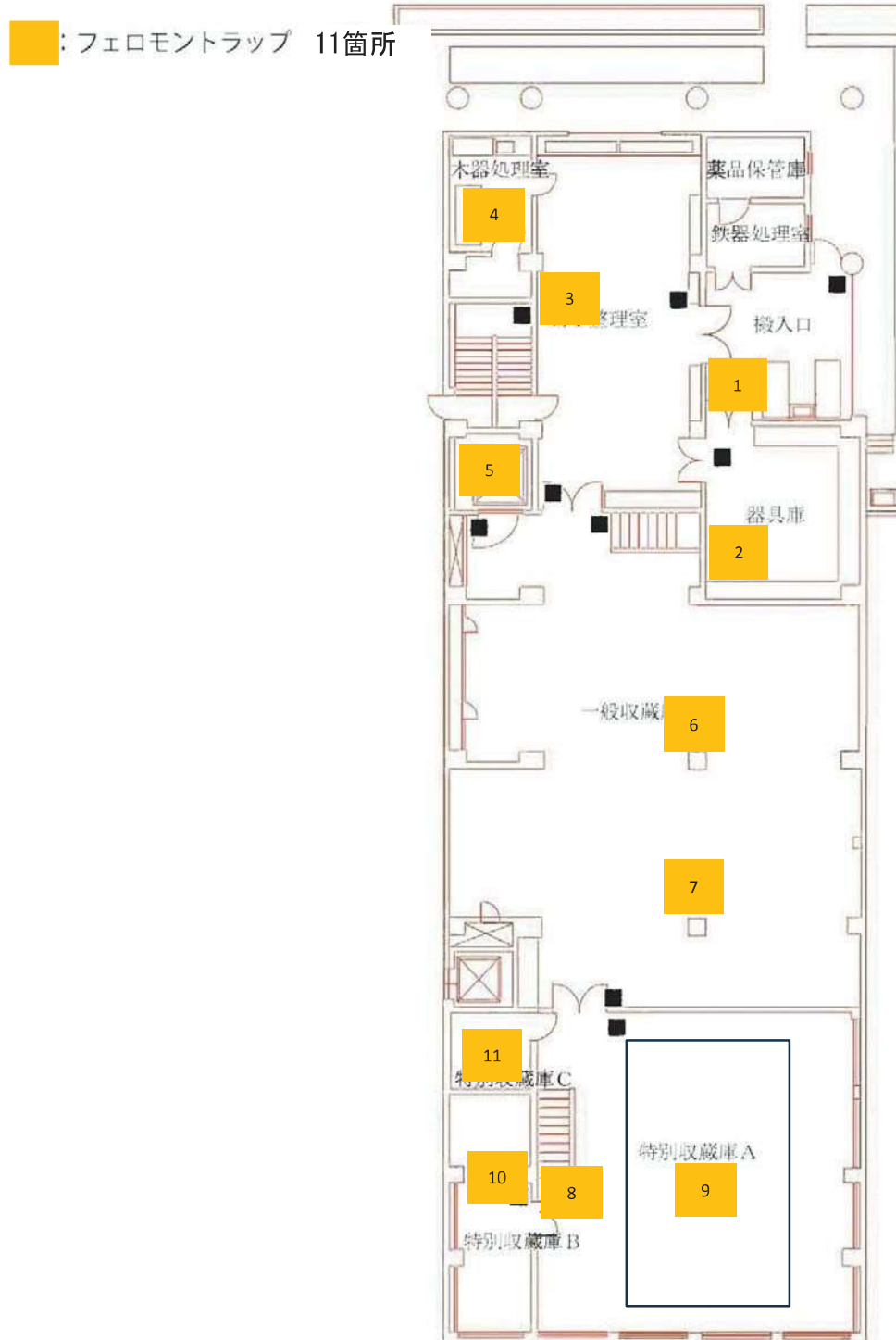
うち

- :スティッキートラップ 10箇所
- :バグトラップ 15箇所



埋蔵文化財調査センター 3階平面図

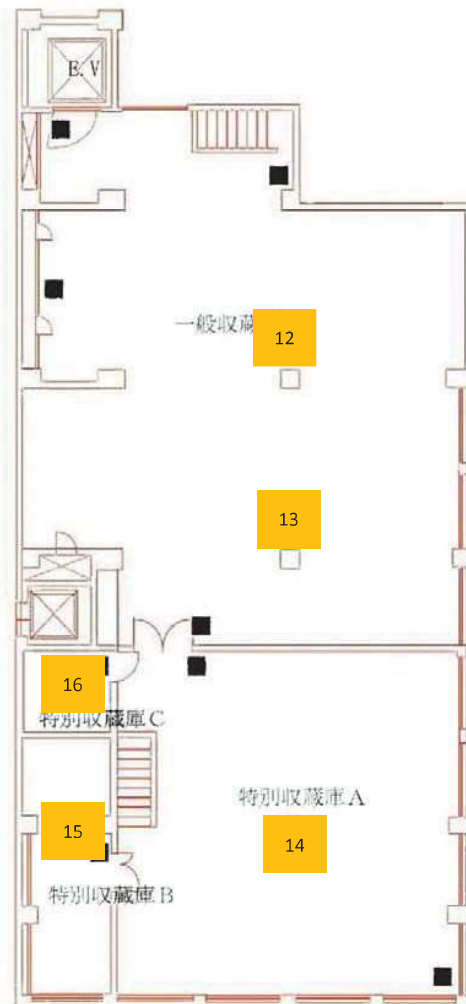
昆虫生息調査 フェロモントラップ 配置図



埋蔵文化財調査センター 1階平面図

昆虫生息調査 フェロモントラップ 配置図

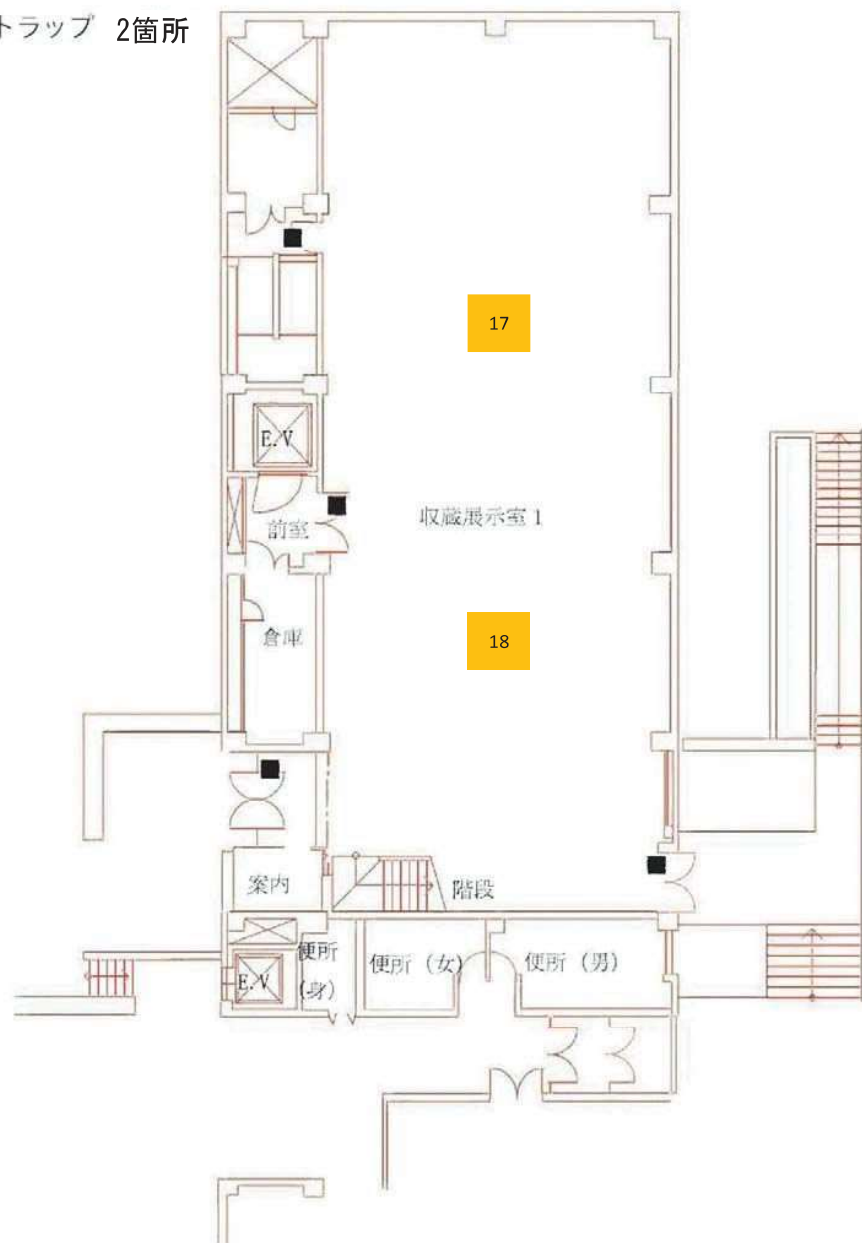
■ : フェロモントラップ 5箇所



埋蔵文化財調査センター 中2階平面図

昆虫生息調査 フェロモントラップ 配置図

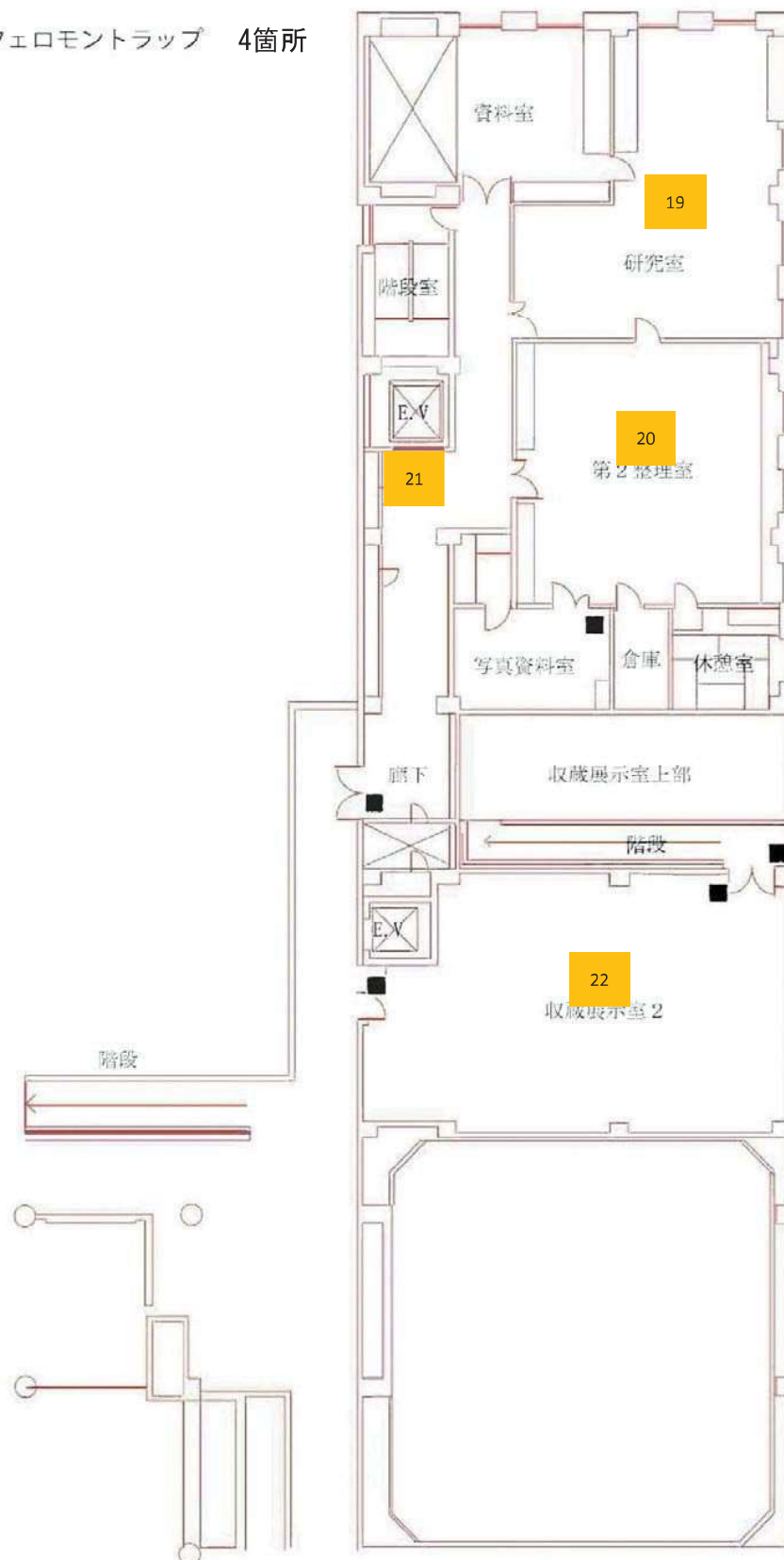
■ : フェロモントラップ 2箇所



埋蔵文化財調査センター 2階平面図

昆虫生息調査 フェロモントラップ 配置図

■ : フェロモントラップ 4箇所



埋蔵文化財調査センター 3階平面図

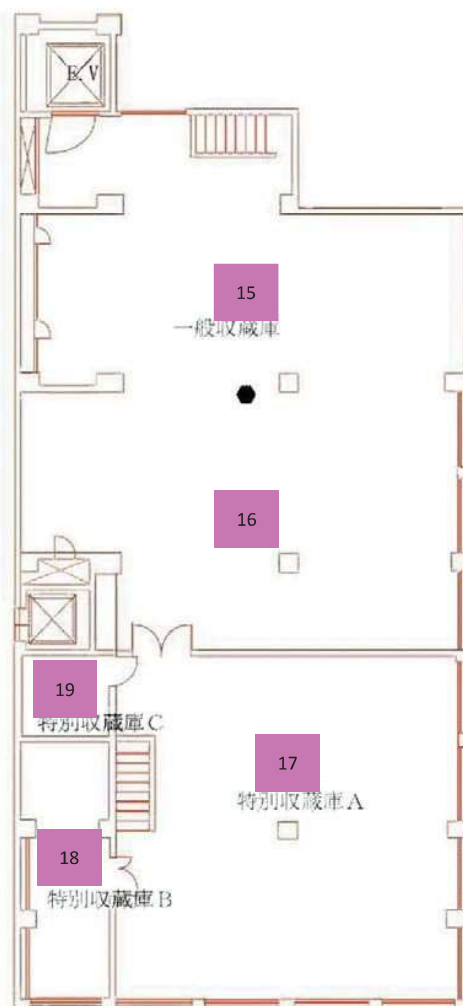
浮遊菌調査 配置図



埋蔵文化財調査センター 1階平面図

浮遊菌調査 配置図

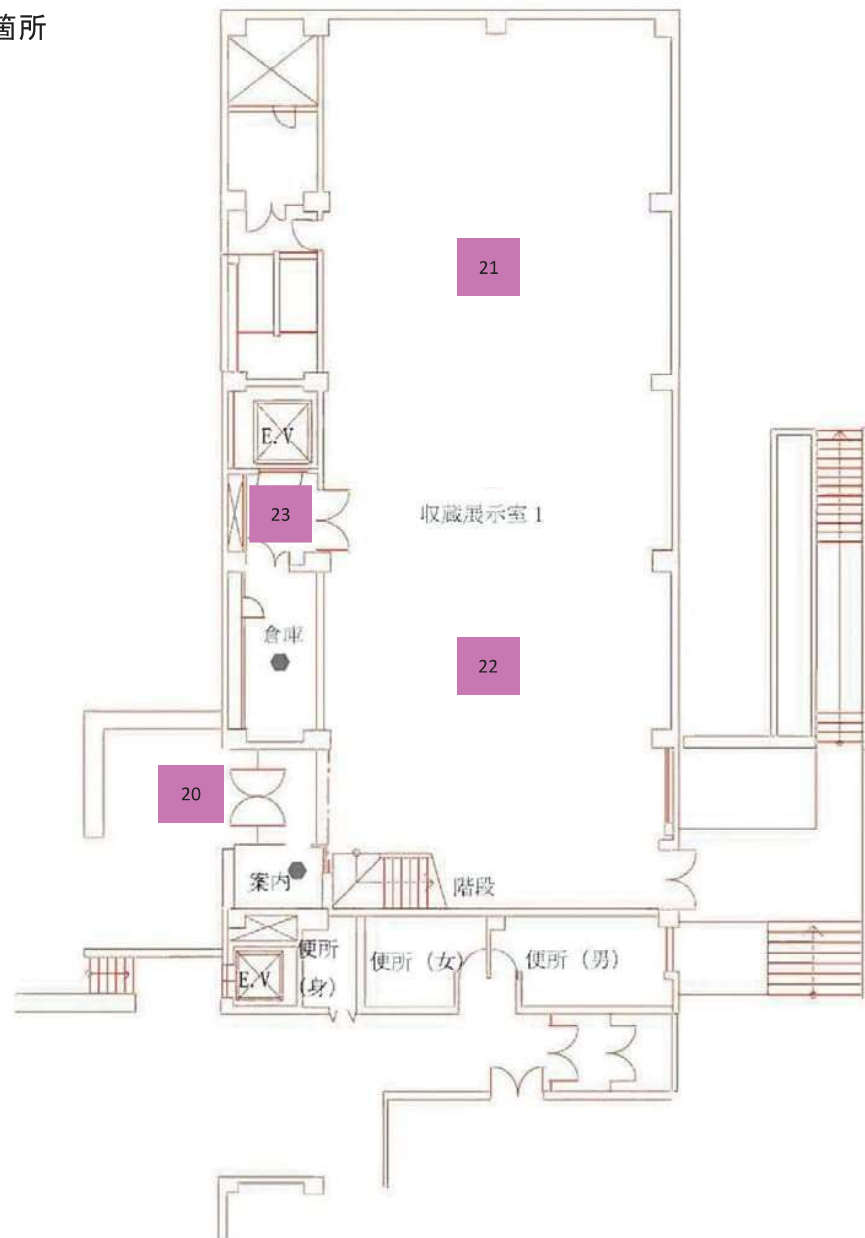
■ 浮遊菌調査 5箇所



埋蔵文化財調査センター 中2階平面図

浮遊菌調査 配置図

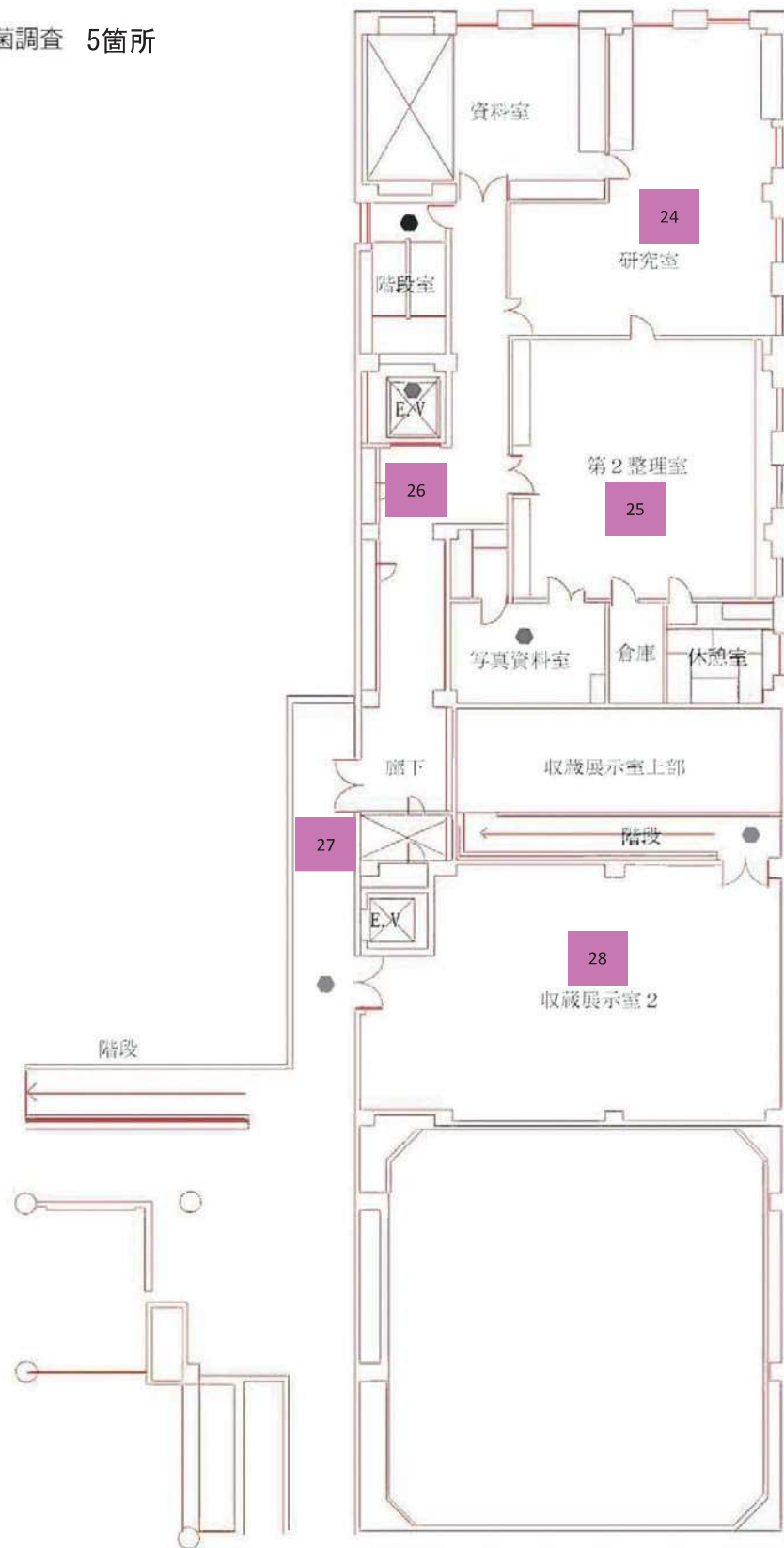
浮遊菌調査 4箇所



埋蔵文化財調査センター 2階平面図

浮遊菌調査 配置図

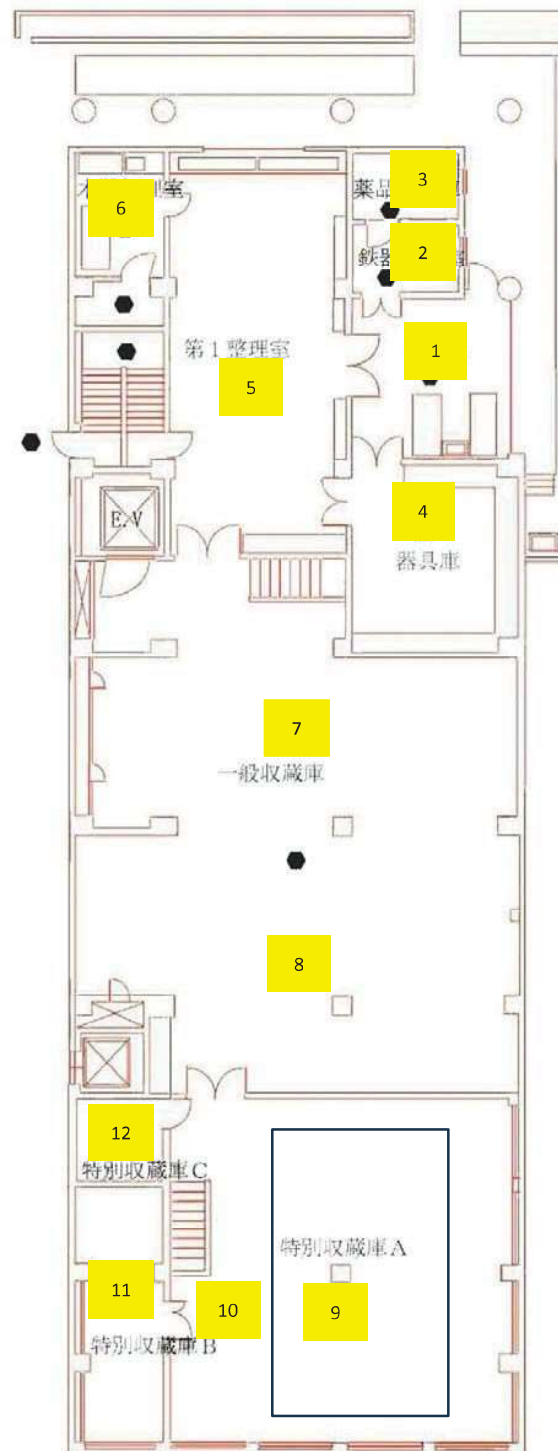
浮遊菌調査 5箇所



埋蔵文化財調査センター 3階平面図

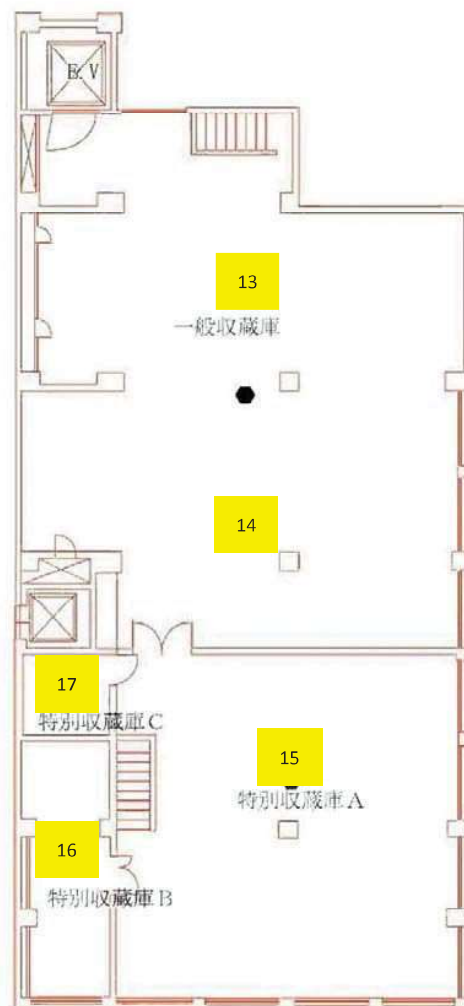


有機酸・アンモニア
及び塵埃調査
12箇所



有機酸・アンモニア及び塵埃調査 配置図

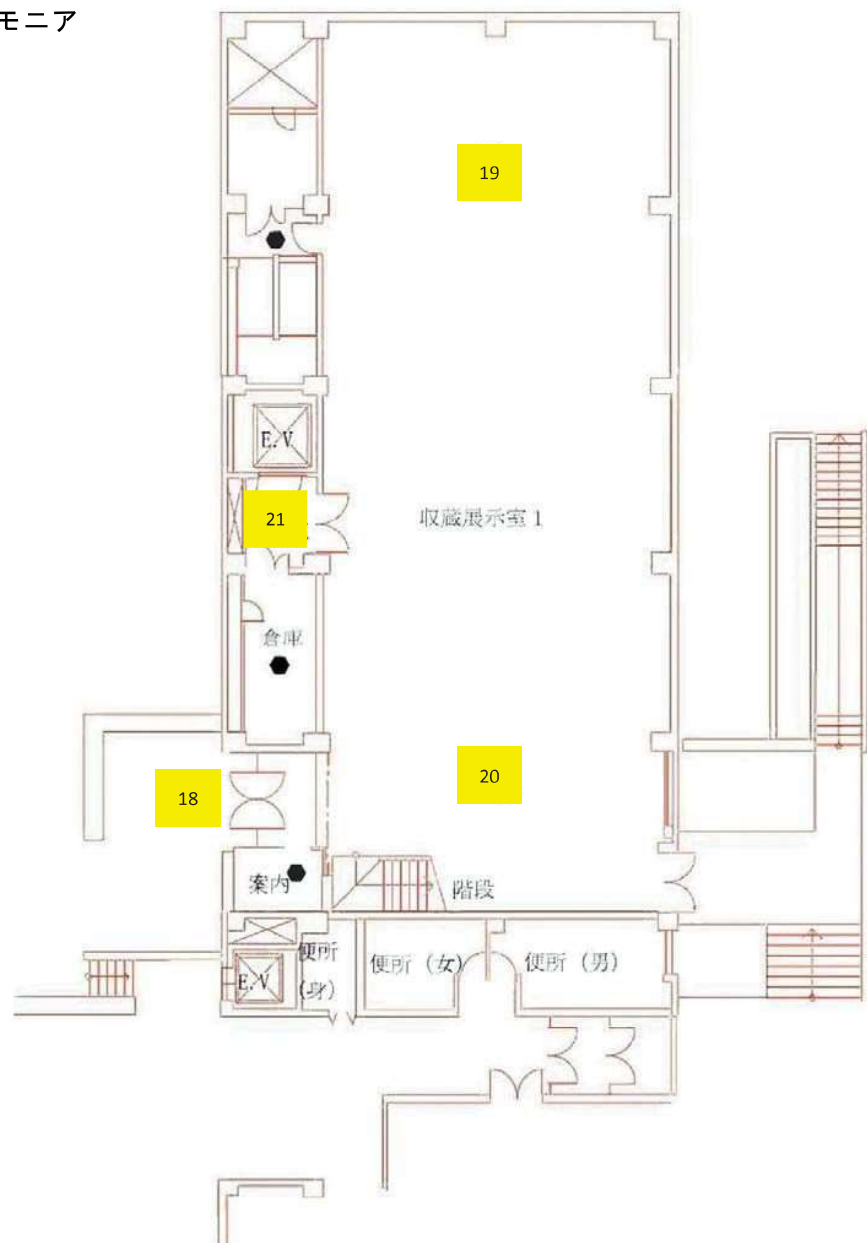

 有機酸・アンモニア
 及び塵埃調査
 5箇所



埋蔵文化財調査センター 中2階平面図

有機酸・アンモニア及び塵埃調査 配置図

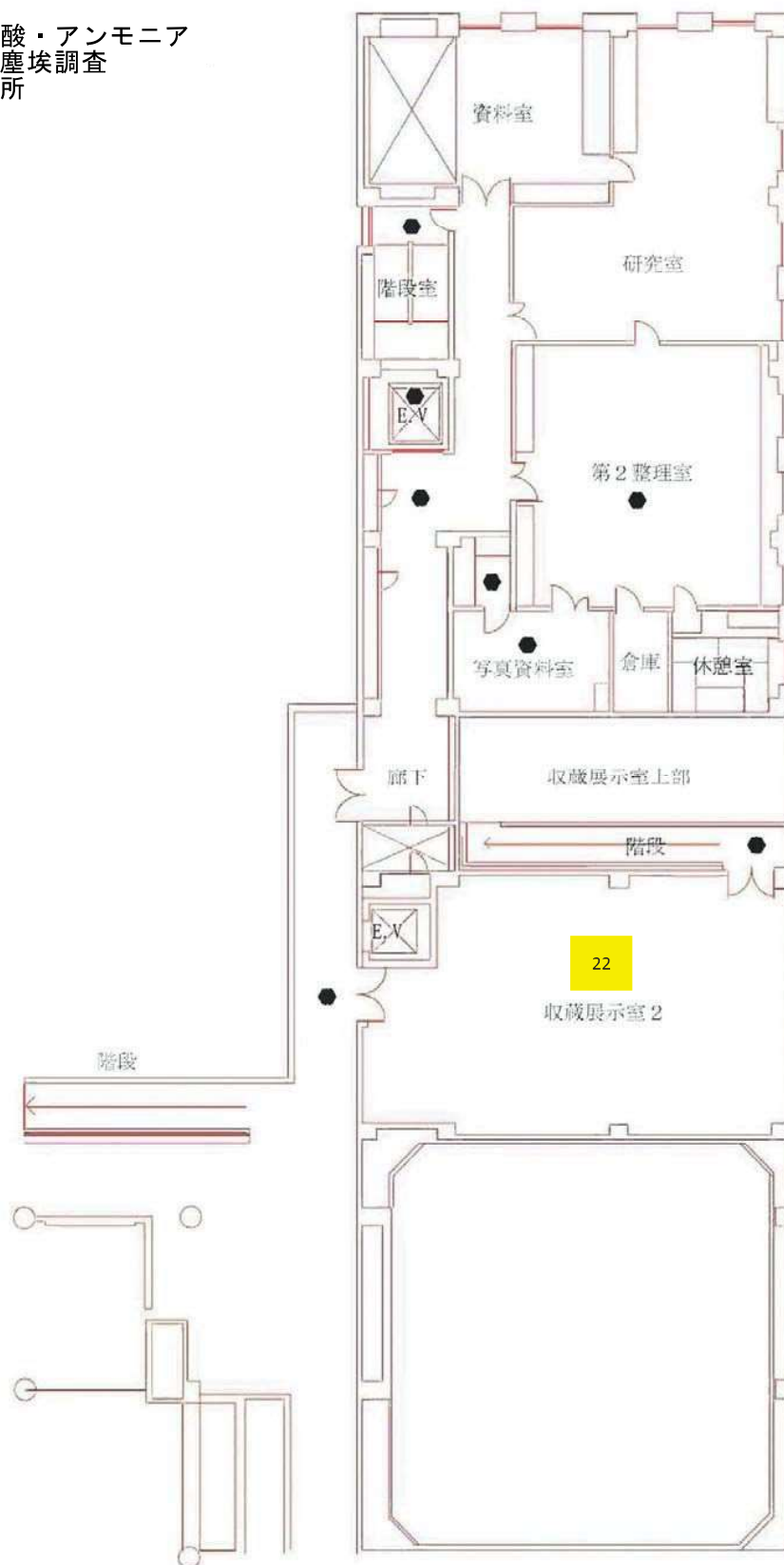
有機酸・アンモニア
及び塵埃調査
4箇所



埋蔵文化財調査センター 2階平面図

有機酸・アンモニア及び塵埃調査 配置図

有機酸・アンモニア
 及び塵埃調査
 1箇所



埋蔵文化財調査センター 3階平面図

受 付 番 号

制限付き一般競争入札参加申請書

令和 年 月 日

多賀城市長 深谷 晃祐 殿

住 所
商号又は名称
代表者氏名
電 話 番 号

印

件 名 令和8年度多賀城市埋蔵文化財調査センター環境調査業務委託

令和8年7月8日付けで公告のありました、標記業務の物品売買に係る制限付き一般競争入札に参加したいので、申請します。

なお、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項の規定に該当しない者であること及び本申請書及び添付書類のすべての内容については、事実と相違ないことを誓約いたします。

注 競争入札参加登録申請の際に、支店長等に入札、契約等に関する権限を委任している場合は、受任者名で申請してください。

履 行 実 績 調 書

件 名	
発 注 者	
場 所	都道府県 市町村
契 約 金 額	
契 約 期 間	年 月 日 から 年 月 日まで
受 注 形 態 (○で囲むこと)	単 体
概 要 等	

注1 契約書の写しを添付すること。

注2 公告において明示した資格があると判断できる必要最小限の具体的項目を記すこと。

制限付き一般競争入札

質疑応答について

件 名 令和8年度多賀城市埋蔵文化財調査センター環境調査業務委託

仕様書等に係る質疑応答については、下記のとおりです。質問のある場合のみ質問書を提出して下さい。

記

1 質問書提出方法 Eメール又は直接持参

1) 書式 所定の様式により提出すること。(準じた様式可)

※ 質問書の様式は、市のホームページ(市政情報→市が発注する仕事→入札→制限付一般競争入札の発注物品役務など→申請に係る関係書類等)からダウンロード(Excel形式)することができます。

(提出する書式の形式は、Word形式又は一太郎形式でも可)

2) 提出期限 公告に定める期間内に企画経営部財政課管財契約係へ提出すること。

3) 提出場所 Eメールの方 下記のメールアドレスまで
keiyaku@city.tagajo.miyagi.jp

直接持参の方 多賀城市企画経営部財政課管財契約係

※ 質問書には、会社名、担当者名、電話番号及びファクシミリ番号を記載すること。

2 回答方法 企画経営部財政課管財契約係で閲覧に供するとともに、入札参加を認められた者に対し当該回答書をEメール又はファクシミリにより送付する。

1) 回答日 令和8年7月17日(金) までに回答

※ 回答書(Eメール又はファクシミリ)を確認した時は、確認した旨をEメール又は電話にて企画経営部財政課管財契約係まで連絡願います。

多賀城市企画経営部財政課管財契約係

TEL022-368-2352

入札書

令和 年 月 日

多賀城市長 深谷 晃祐 殿

住 所

商号又は名称

代表者役職氏名

印

代 理 人

印

多賀城市契約規則を守り、下記金額をもって入札いたします。

記

1 件 名 令和8年度多賀城市埋蔵文化財調査センター環境調査業務委託

2 場 所 多賀城市埋蔵文化財調査センター
(多賀城市中央二丁目2 7番1号)

3 入 札 金 額

(消費税等抜き)								
億	千	百	十	万	千	百	十	壱

円也

4 入 札 保 証 金

億	千	百	十	万	千	百	十	壱
		免				除		

円也

委任状

令和 年 月 日

多賀城市長 深谷 晃祐 殿

住 所

商号又は名称

代表者役職氏名

印

私は を代理人と定め、下記の入札及び見積に関する
一切の権限を委任します。

記

- | | | |
|-----|---|-------------------------------------|
| 1 件 | 名 | 令和8年度多賀城市埋蔵文化財調査センター環境調査
業務委託 |
| 2 場 | 所 | 多賀城市埋蔵文化財調査センター
(多賀城市中央二丁目27番1号) |

代理人使用印鑑

